

令和8年7月 町政運営説明会

とき/ところ： 7月14日（火）口羽公民館
7月15日（水）田所公民館
7月16日（木）矢上公民館
開会時刻： 午後7時

開会

1. 町長あいさつ

2. 町政説明

- ①現在の町の状況について（財政状況など）
- ②邑南町第3次総合振興計画
- ③保育所再編について
- ④来年度の機構改革の検討状況
- ⑤水道料金の見直し
- ⑥学校あり方検討会の状況
- ⑦その他
奨学金制度の見直し、投票所の見直し、邑南町健康センタープールの現状、
島根かみあり国スポ・全スポ2030

3. 意見交換・質疑応答

4. 副町長あいさつ・閉会

ご意見入力フォーム

本日の説明に対してご意見を入力できるフォームを用意しています。スマートフォンやパソコンで入力できますので、ご意見がある方は、ご利用ください。



<https://ttzk.graffer.jp/town-ohnan/smart-apply/surveys-alias/tyoseiuneisetsumei202607>

【メモ】

【執行体制】

職 名	氏 名	職 名	氏 名
町 長	大 屋 光 宏	副 町 長	白 須 寿
教 育 長	大 橋 覚	総 務 課 長	高 瀬 満 晃
資 産 経 営 課 長	沖 野 弘 輝	資 産 経 営 課 主 査	小 畑 芳 秋
情 報 み ら い 創 造 課 長	植 田 啓 司	地 域 み ら い 課 長	田 村 哲
財 務 課 長	森 田 政 徳	町 民 課 長	秋 田 敏 子
医 療 福 祉 政 策 課 長	岩 井 和 也	産 業 支 援 課 長	小 笠 原 誠 治
建 設 課 長	小 笠 原 清	水 道 課 長	三 浦 康 孝
保 健 課 長	安 田 裕 子	出 納 室 長	日 高 和 美
瑞 穂 支 所 長	三 浦 雄 一 郎	羽 須 美 支 所 長	峡 戸 真 理 恵
議 会 事 務 局 長 (議 会)	井 上 義 博		
学 び の ま ち 総 務 課 長 (教 育 委 員 会)	原 拓 矢	学 び の ま ち 推 進 課 長 (教 育 委 員 会)	田 村 成 生

① 邑南町 年代別人口の推移（令和元年～令和7年）

令和8年7月町政運営説明会 町長 大屋光宏

■ 令和7年度末の邑南町の人口（住民基本台帳）

総人口 **9,232人** 前年比 ▼ 132人（6年度は ▼ 252人）

出生 31人（過去最少）

社会動態 +17人

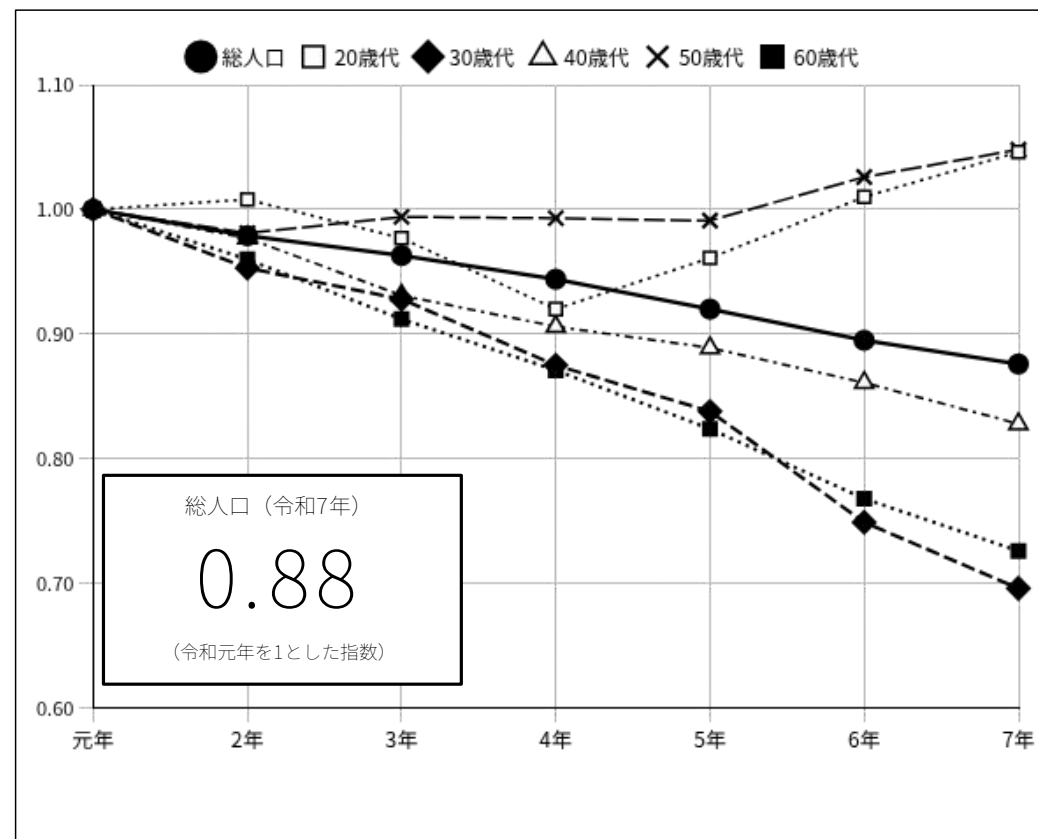
※社会動態内訳：日本人 ▼ 7人、外国人 + 24人（7年度末 外国人人口 132人）

■ 実数データ表（人）（前年10月から当該年9月まで）

出典：島根県政策企画局統計調査課「島根の人口移動と推計人口」

年齢	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
総人口	10,374	10,152	9,993	9,795	9,548	9,280	9,087
20歳代	389	392	380	358	374	393	407
30歳代	829	790	769	725	695	621	577
40歳代	1,123	1,097	1,046	1,017	998	967	930
50歳代	1,057	1,037	1,051	1,050	1,048	1,084	1,108
60歳代	1,713	1,645	1,563	1,492	1,411	1,315	1,243

■ 令和元年を1とした指数の推移



30歳代（令和7年）

0.70

60歳代（令和7年）

0.73

② 邑南町の人口移動の特徴

(前年 10 月から当該年 9 月まで)

令和 8 年 7 月町政運営説明会 町長 大屋光宏

出典：島根県政策企画局統計調査課「島根の人口移動と推計人口」

社会動態 (▼は転出超過)

令和6年

▼74 人

→

令和7年

▼5 人↑

転出超過が大幅に改善してきました

◆ 令和 6 年と比較してのポイント

1 家族(同伴者)での転入が増えた

- ・転入者 209人→251人↑(R7)
- ・うち同伴者 25人→48人↑(R7)

2 家族(同伴者)での転出が減った

- ・転出者 283人→256人↓(R7)
- ・うち同伴者 50人→32人↓(R7)

3 Iターン者が特に増加した

- ・Iターン転入者 11人→37人↑(R7)
- ・うち同伴者 1人→13人↑(R7)

4 県内市町村との社会動態は均衡 ▼10人→±0人↑(R7)

- ・川本町 ▼1人→3人↑(R7)
- ・美郷町 ▼9人→±0人↑(R7)
- ・江津市 ▼5人→▼15人↓(R7) (流出が増え続けている)
- ・浜田市 ▼3人→3人↑(R7) (流入に転じた)

5 県外との転出超過が大幅に減少 ▼64人→▼5人↑(R7)

- ・広島県 ▼37人→▼16人↑(R7) 転入58人、転出74人
- ・関東圏 8人→14人↑(R7) 転入24人、転出10人
- ・関西圏 ▼7人→2人↑(R7) 転入17人、転出15人
- ・福岡県 ▼3人→7人↑(R7) 転入11人、転出4人

①近隣自治体は、同じ傾向(川本町+7人、美郷町±0人、北広島町+5人(R6)) ②江津市は社会動態▼86人であるが、県内市町村間の移動は+26人

③松江市との社会動態+の自治体は、出雲市(40人)・邑南町(11人)・江津市(8人)・津和野町(5人)・益田市(3人)・美郷町(2人)・川本町(1人)

④周辺市町村と江津市との社会動態 浜田市▼38、大田市▼1、川本町+7人、美郷町▼1人、邑南町▼15人

③財政運営の私の方針

令和8年7月町政運営説明会 町長 大屋光宏

- ◎年間に必要な経費はすべて積算して当初予算に計上する
- ◎財政規律を守る（普通建設起債枠4.5億円など）
- ◎今後の必要な大型事業に備える

◇ 令和8年度予算

1 財政調整基金取崩額の増大（財源不足の増大）

- ・財調取崩額 4.56億円（R7予算）→ **7.71億円**（R8予算）
要因）負担金、人件費、光熱費などの物価高騰による影響
長く見直しをしていなかった委託料、報酬などの見直し

2 基金は枯渇するのか（財政規律を守った結果）

- ・財政調整基金 R6年度末残高 11.79億円
令和7年予算編成時の7年度末残高見込 7.24億円
実際の7年度末残高 13.93億円

3 今年度の見通しは・・・中東情勢の影響もあり厳しい

- ・地方交付税の配分額の増加＜人件費増などの経費増加
- ・施設老朽化による予期せぬ修繕費の増加
- ・中東情勢の影響による町内事業活動の停滞、収益の減少

◆ 今後の不安要因

1 金利の上昇の影響

- ・利息支払額 1.33億円（R7予算）→ 1.58億円（R8予算）**2千5百万円増**
町債（借金残高）172億円（一般会計8年度末見込）
（参考）令和元年度末残高 127億円
- ・一時借入限度額 30億円（一般会計R8予算）

2 道の駅・石見中学校・邑智病院整備事業の影響

⇒返済財源が確保されていない起債（借金）

- ・起債総額（R2～R7）66.68億円
- ・償還期間 R3からR37年（2055年）まで
- ・実質償還総額（見込）24.16億円（7割交付税措置）
- ・今後の償還見込（最大は3.62億円（R13））
1.15億円（R8）→2.44億円（R11）→3.29億円（R12）
→2.99億円（R22）→1.24億円（R36）→0.37億円（R37）
- ・令和8年度公債費（借金返済額） **15.44億円**

邑南町 第3次総合振興計画について

令和8年度 町政運営説明会資料

1. 計画の理念と基本的な考え方

▶ 理念

「地域とつながり、挑戦を育む町」

■ この理念に込めた思い

第3次総合振興計画では、「地域とつながり、挑戦を育む町」を理念としています。

この理念には、本町には暮らしの中に温かな「つながり」が息づき、子どもの見守りや住民活動が活発に行われ、高齢者を思いやり支え合う互助の精神が受け継がれているという強みを、次の世代へ継承していきたいとの思いを込めています。



今後 10 年間においては、「地域とのつながりがあることの安心感」を大切にしながら、新たな挑戦が生まれる基盤となる安全な暮らしを確立していくことを目指しています。

2. 計画の概要

・ 計画の位置づけ

邑南町第3次総合振興計画は、今後の施策運営の総合的・基本的な指針として、町の最上位の行政計画と位置付けるものです。

邑南町の目指すべき将来の姿を明らかにするとともに、今後 10 年の目標や施策の基本的方向を示しています。

・ 計画期間

令和8年度（2026年度）から 令和17年度（2035年度）までの 10年間

3. 振興計画の全体構成 — 4つの柱と27の取り組み方針 —

理念である「地域とつながり、挑戦を育む町」を実現するために、4つの柱と27の取り組み方針を掲げ、これを推進します。

・ ひとを育てる	挑戦を育てる学びのコミュニティ → 6つの取組方針 I. 地域社会で共に育てる「子育て環境」の向上 II. 幼少期からの健康づくりで心も身体も大事にケア III. 学校・家庭・地域が一体となった「おおなん学」の推進 IV. 邑南町の教育にあった学校の在り方の研究・実現 V. 地域での活躍を後押しー 邑南町の未来を描く学び VI. 公民館エリアの地域資源を生かした教育の充実
・ しごとを伸ばす	「おおなんブランド」を基盤とした挑戦の促進 → 8つの取組方針 I. テクノロジーを活用した持続可能な農林水産業の実現 II. 豊富な森林資源の有効活用と循環型林業の確立 III. 起業・第二創業等の町内事業者の挑戦を支援 IV. 道の駅や農産物直売所を起点に観光による経済波及 V. 邑南町の新たなイメージ戦略とその活用 VI. 邑南町の自然を守り・生かすー環境産業の推進 VII. 多様な働き方ニーズを満たし、働くひとを応援 VIII. 事業承継・組織連携・人材確保を通じた事業継続支援
・ くらしを守る	誰もが安心できる心地よいふるさと → 6つの取組方針 I. 道路網維持と施設の長寿命化でインフラを次代に継承 II. 山と川、生物多様性を保全し、安定した水源を確保 III. 町民の生命と財産を守るー災害・獣害を防ぐ地域の備え IV. 誰もが利用しやすい超高速通信インフラの展開 V. スマート化による効率的な地籍調査 VI. 住まいづくりと空き家活用で移住・定住支援
・ つながりを深める	多様なつながりが生み出す信頼が循環する町 → 7つの取組方針 I. 多様な力を結集した地域コミュニティの育成 II. 地域での暮らしをあきらめない医療・福祉の推進 III. 外国人も含めた多文化共生のまちづくりを推進 IV. 使いやすい交通手段・移動支援の仕組みづくり V. 災害からしなやかに立ち上げられる防災体制づくり VI. 環境衛生の推進と循環型社会の実現 VII. DXの推進による利便性の高いまちづくり

4. 町と町民が協働で進めるまちづくり

本計画の策定にあたっては、広く住民の皆さまからご意見を伺うために、無作為抽出により参加者を募った「住民会議」や、「おおなん活力インデックス」と題した WEB アンケート調査の実施、小中学生等による 10 年後を思い描いたメッセージカードの作成のほか、町内事業所や町内在住の外国人の方への聞き取りを行うなど、町民の皆さまの本町の将来に対する思いを幅広く把握する取り組みを進めました。

・まちづくりへの参加

今後も、無作為選出による対面型の意見聴取の場として「住民会議」を開催し、評価指標としては、WEB アンケート調査「おおなん活力インデックス」を実施していきます。

計画書の中には、計画の記載内容を、町民の皆さんとともに実行するための方法の一つとして、町民の皆さんがご自分の考えを記載できるコーナーを設けています。計画書を「読む」だけでなく、自分ごととして考えていただくきっかけとすると共に、実際に考えを記載する事で、個人の行動宣言ノートとして、棚に置いたままにならず、日常の中で繰り返し手に取っていただける工夫としています。

03 Ⅲ. 外国人も含めた多文化共生のまちづくりを推進

この町に住む誰もが「共に暮らす一員」、「社会を構成する一員」であることを肯定的に感じられるよう、年齢・性別・国籍などの様々な違いを乗り越えた多文化共生社会づくりを推進します。

- 多文化共生の推進
移住者や外国人世帯の増加などを背景に、一人ひとりの権利を守りながら、多様な文化や価値観を認め合い、自己決定できることを支援していきます。
- 若者や女性にも選ばれる地域づくり
「地域運営組織」等との協働により、次の時代を担う若者や女性が望んで住みたい、働きたいと思ってもらえるような地域づくりに取り組みます。
- 多様な人材がつながり、活躍できる環境の実現
移住者や外国人世帯の増加を踏まえ、町民一人ひとりが尊重され、特性・個性に応じた社会参加ができるような共生社会の実現に取り組みます。

自分たちにもできることを考えてみよう！

目標・指標	現状値	目標値
① 住んでいる地区に愛着を感じる	49.4%	60%
② どんな人の集まりでも受け入れる雰囲気がある	18.3%	30%
③ 同じ町内に住む人たちを信頼している	52.9%	70%



5. パブリックコメントの実施結果

計画案について、広く町民の皆さんからご意見を募集し参考にしました。

■意見募集期間 令和7年12月26日（金）～令和8年1月19日（月）

■意見結果 15 人の方から 63 件のご意見をいただきました

※ いただいたご意見はホームページに掲載しています。

第3次総合振興計画（本編・資料編）は町のホームページに掲載しています。

その他、ご不明な点は、邑南町役場 地域みらい課までお気軽にお問い合わせください。

電 話：0855-95-1117

IP 電話：050-5207-3019



保育所再編について

令和8年度末をもって、瑞穂福祉会の阿須那保育所、市木保育園及び石見さくら会の日貴保育所は閉所する。

町内保育所の現状

児童数が減少しているにもかかわらず、保育サービスが受けられない

	令和5年度	令和7年度
保育所入所	第1希望の保育所に 全員入所可	第1希望の保育所に 5人が入所できない
子育て支援センター	週5日 開設	週2日 開設
一時預かり保育	週5日 開設	受け入れが 可能な日のみ
土曜保育	全保育所 毎週開所	利用希望のない保育所は 閉所

保育士不足の影響

保育所職員数(雇用形態別)

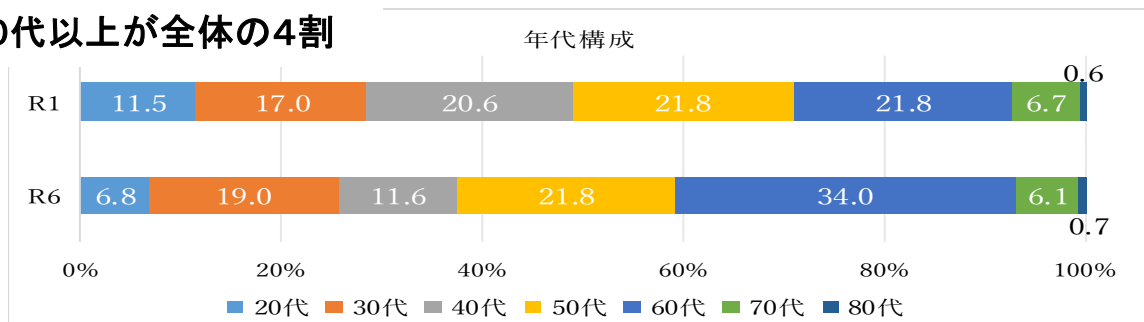
正規職員が減少し、全体の3割

	令和元年		令和6年		各年12月初日
種別	人数	割合	人数	割合	5年前 比較
正規職員	55	33.3%	45	30.6%	-10
契約職員	44	26.7%	36	24.5%	-8
パート職員	66	40.0%	66	44.9%	0
合計	165	100.0%	147	100.0%	-18

正規職員一人ひとりの責任や業務負担の増

年代構成

60代以上が全体の4割



中堅層の不足

保育士有効求人倍率

	新規求職 申込件数	有 効 求職者数	新規求人数	有効求人数	有効求人倍率
島根県	16	99	92	223	2.25
全 国	3,293	12,617	17,521	47,686	3.78

※令和7年度1月現在厚生労働省「職業安定業務統計」

全国的に高い求人倍率

現状

保育士不足により

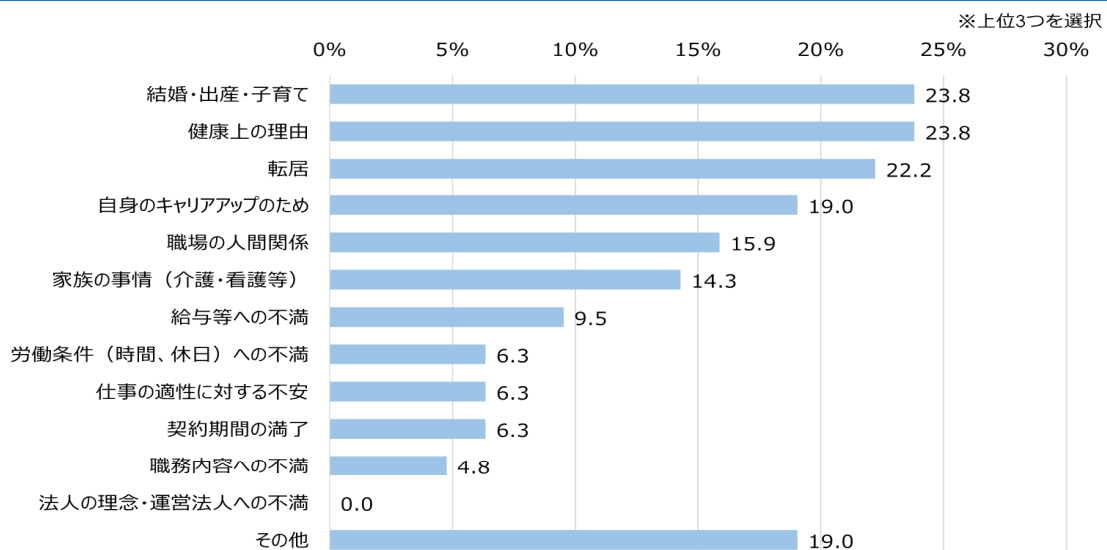
- ・事故リスクが高まっている
- ・個別の支援が必要な子どもに十分な対応ができない
- ・病気休暇、有給休暇等が取得しづらい

今後の可能性

- ・事故リスクがさらに高まる
- ・希望する保育所に入所できなくなる

20代保育士の早期離職理由

18



(n=63)

「結婚・出産・子育て」、「健康上の理由」、「転居」がそれぞれ2割台で上位を占めている。

令和7年度保育士確保等に関する実態調査
(島根県子ども・子育て支援課)

1 現状

3町村が合併、2つの支所設置

教育委員会、保健課は瑞穂地域に拠点(分庁方式)

政策に応じ課等の統廃合を進めて来た

2 課題

課等の規模の大小、業務量の多少の差が大きい

意思決定や情報共有に時間がかかる

3 検討方針

2の課題を解決する新たな体制の構築

視点① 検討における主な視点

- 業務平準化・連携強化
- 庁舎として利用できる施設、空間
- 内部統制の推進(業務の効率的かつ効果的な遂行)
- DX技術の積極的活用
- 課名の見直し
- その他

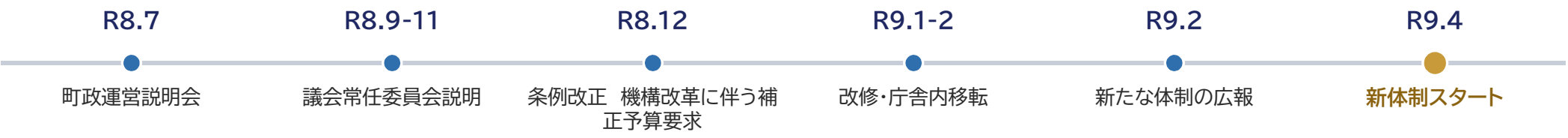
視点② 総合振興計画の推進に必要な体制

- 多様な形での地域等支援
- 課題等を庁内各課で共有
- 計画の進捗評価と改善につながる仕組み構築

新たな機構(体制)

住民サービスの維持・業務の効率化

4 スケジュール



水道料金の見直し

①経営目標の検討（基本的な考え方）

【検討にあたって条件整理】

■本町では、令和7年度以降において収益的収支で黒字を維持できない状況であり有収水量も減少傾向が続いており、料金回収率も減少していく見込みであるため、今後も厳しい経営が見込まれます。

■今後、水道事業の健全経営を維持するためには継続して黒字（当期純利益）を計上することに加えて、事業運営上は運転資金を常に確保することが重要になります。

■これらの観点から、特に損益面、資金面から、以下の条件により必要な料金水準を検討する必要があります。

経営目標

収益的収支	黒字確保	将来にわたって持続可能な事業運営を行うため黒字を維持する
-------	------	------------------------------

②邑南町上下水道委員会スケジュール

令和7年度

1. 第2回上下水道委員会（R7. 10）

- ・事業目的や内容、今後の予定の説明
現在の水道料金について

2. 第3回上下水道委員会（R8. 3）

- ・町長諮問（水道料金の改定について）
水道料金の改定について検討（基本的な考え方）

令和8年度

3. 第1回上下水道委員会（R8. 6）

- ・水道料金改定についての検討
水道料金の複数案の提案と検証（考え方の整理）

4. 第2回上下水道委員会（R8. 9）

- ・答申書確認・提出
答申書の作成（案）

料金改定スケジュール（令和7年度～8年度）

	令和7年9月～10月	令和7年11月～12月	令和8年1月～3月	令和8年4月～6月	令和8年7月～9月	令和8年10月～12月	令和9年4月
1. R7 第2回資料作成	→						
2. 町長諮問		→					
3. R7 第3回資料作成		→					
4. 議会中間報告			→	→			
5. R8 第1回資料作成			→	→			
6. R8 第2回資料作成					→		
7. 答申						→	
8. 議会報告・料金改定						議会議決	料金改定

○小中学校の統廃合に関する事業

1. 教育の在り方研修会を田所公民館で開催しました。

日 時：6月24日（水）18：30～20：00

講 師：邑南町小中学校の在り方検討委員会

委員長 松本 一郎 氏（島根大学教授）

参加者：52人（スタッフ加えて71人が受講）

2. 教育の在り方に対する意見聴取の場・方法・公開を設けます。

①場の設定

- ・教育の在り方研修会で聴取
- ・地域の集まりに出向いて聴取

※原則として10人以上の団体（邑南町出前講座と同様）

- ・教育委員会が設定して聴取
- ・ケーブルテレビ放送時に聴取

②聴取の方法

- ・各会場にて聴取
- ・二次元コードを利用して聴取

③答申内容の公開

- ・邑南町ホームページ上に掲載
- ・役場本庁・各支所・各公民館に閲覧用冊子を設置
- ・ケーブルテレビ（7月長尺番組）で研修会の内容を放送

現在、土日祝日の午後2時30分から放送中です。 画面上の二次元コードをスマートフォンで読み取っていただき、ご意見をお聞かせください。

- ・意見聴取用VTR（15分）の作成（松本先生に録画依頼）

④聴取した意見の公開

- ・邑南町ホームページ上に掲載
- ・役場本庁・各支所・各公民館の閲覧用冊子に追加で綴る
- ・邑南町広報

⇒聴取した意見は検証し、「学校の在り方に関する基本方針」に反映させます。

3. 小中学校の統廃合に向けた進め方

今後開催予定の「総合教育会議」で進め方等を協議します。

※「総合教育会議」：町長と教育委員会（教育委員4名）が地域の教育課題や方針について協議・調整を行うために設置される会議のことです。

6月24日に開催された「教育の在り方研修会」の様子をケーブルテレビで放送します。
昨年度行われた「邑南町小中学校の在り方検討委員会」委員長松本一郎氏(島根大学教授)に、答申内容について講義していただきました。

これからの小中学校について一緒に考えませんか？

～研修会放送と意見募集のお知らせ～



上の二次元コードからも
ご意見が入力できます。

教育委員会では、小中学校の統廃合を含めた今後の教育の在り方を検討しています。
6月に開催された研修会の様子を放送し、それに基づいた住民の皆様からの意見を7月末まで募集します。



ステップ1：テレビ放送で内容を知る

7月の土日祝日 ケーブルテレビの長尺番組枠にて、
14:30から放送 研修会の様子を詳しくお届けします。

検討委員会の答申内容に基づき、
これからの教育の在り方について説明しています。

ステップ2：あなたの意見を届ける

Webまたは
公民館から回答

テレビ画面の二次元コード、または
公民館の専用用紙から提出できます。



7月31日(金)まで



町の未来を担う子どもたちのために、
ぜひ皆様の声をお聞かせください。

本チラシはAIを使って作成したものです。



NotebookLM

※「邑南町小中学校の在り方検討委員会」の答申は、町ホームページ、役場本庁・各支所・各公民館で閲覧できます。
お問い合わせ先: 学びのまち総務課 83-1126/IP 5220

邑南町 HP

邑南町の奨学金制度 見直しを検討しています

令和8年度 現在検討中 今後、議会審議を経て正式に決定します

現行制度(3種類)

制度名	対象職種	特徴
町奨学金(一般)	専攻不問	町内居住で猶予、 据置+猶予5年で免除可
医療福祉奨学金	医師・看護師・ 介護福祉士等	町内居住・医療福祉資格による町内就 職・貸与期間以上の就業で免除(町外就 職は一部免除)
農林奨学金	農業・ 林業後継者	町内居住し、農林業に従事又は就職し たときに免除又は半額免除

現在の貸与者数 **139名** 貸与総額 **約4.4億円**

① 縦割り管理で事務が煩雑。
3課にまたがる申請・審査・管理

② JASSO(日本学生支援機構)の奨学金を借りた方は
邑南町の支援制度の恩恵が受けられない

③ 邑南町で住み・働き続ける若者を、より長く・継続的に
支援できる仕組みに改善したい

見直しの方向性

現行①

一般・医療・農林の
3制度(縦割り)



新制度

1制度に統合
(事務の効率化)

一本化

現行②

邑南町の奨学金のみに
支援が限られている



新制度

JASSOも含めた
返済支援制度を新設
(職種問わず全員対象)

公平化

現行③

卒業後早期に町内に居
住、就職しないと免除要
件を満たさない



新制度

住み続けている間は
毎月支援が続く

定住支援

新制度の概要

※ 金額・詳細はすべて「現行ベース」の参考値です。正式な金額は今後の検討・議会審議で決定します。

①奨学金の貸与（引き続き継続）

対象	高校・短大・専門学校・大学・大学院等
月額上限	一般区分:8万円 / 医・歯・薬等:20万円（現行ベース・検討中）
対象者	町民(所得要件なし)
担当	学びのまち総務課

※ 申請・審査・貸与の仕組みは基本的に変わりません

②返済支援制度（新設）

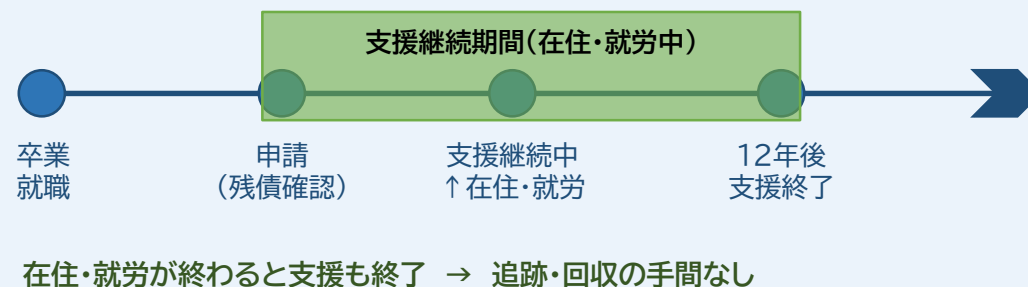
支援対象	JASSOまたは邑南町新奨学金の返済がある方 （JASSOへの拡大により対象者が広がる見込み）
支援額	定住開始時残債額÷144か月（上限:約26,700円/月） （現行ベース・検討中）
要件	邑南町内に在住し、就労している期間 （在住・就労中は継続）
支援期間	最長12年間 就業継続中は毎年更新

※ 職種を問わず全員が対象。旧制度貸与者は対象外。

今後のスケジュール

令和8年12月	議会への条例案提出
令和9年 4月	新制度 施行

<返済支援のイメージ>



【重要】 上記の金額・要件はいずれも現行制度をベースにした参考値です。

返済支援をJASSOに広げることで対象者が増加し、必要予算額も変わる可能性があります。正式な内容は今後の検討・議会審議を経て決定します。

投票所(阿須那・田所地区)の見直しについて

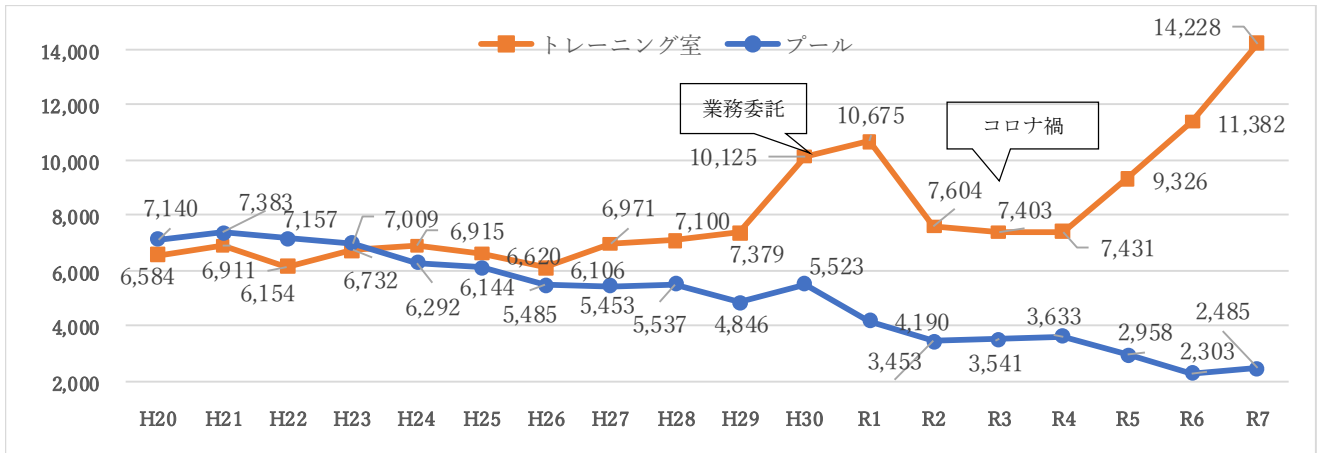
現在、選挙管理委員会では投票所の設備や建物のバリアフリー化が不十分である投票所について、下記のとおり、より良い環境の投票所への統合を行うことを検討しております。(実施予定:令和10年7月執行予定参議院議員選挙)

阿須那地区の投票所	田所地区の投票所
第1投票所 戸河内自治会館	第8投票所 上田所自治会館
第2投票所 阿須那公民館	第9投票所 四つ葉自治会館
第3投票所 宇都井区自治会館 → 阿須那公民館へ統合	第10投票所 田所公民館
第4投票所 雪田区自治会館 → 阿須那公民館へ統合	第11投票所 西鱒渚会館 → 田所公民館へ統合

今後の対応	統合した場合の対応策(移動期日前・期日前投票所への送迎など) 対象地域との協議を行います。
-------	--

邑南町健康センター運動施設プールの現状

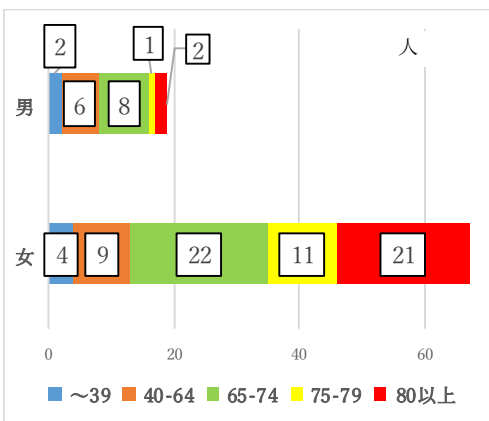
1. 経年利用状況



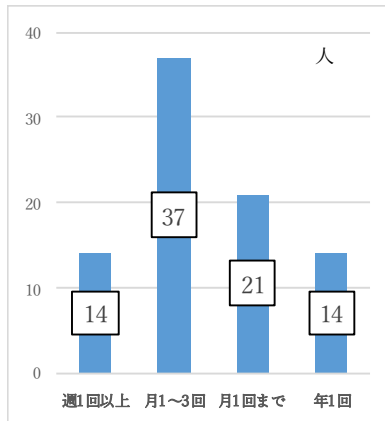
プール利用者は年々減少しており、令和7年度の1日当たりの平均利用人数は9.6人です。

2. 令和7年度プール利用者の状況（体験・教育活動での利用を除く）

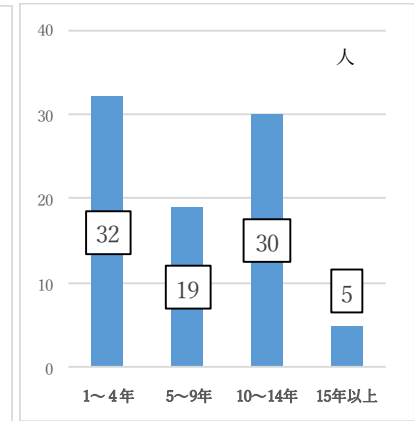
(1) 年代・男女別



(2) 利用頻度



(3) 利用年数



長期間利用されている方が多く、高齢者の健康づくりや介護予防の場として活用されています。

3. 近年の修繕状況及び設備の故障による休止状況

年 月	概 要
令和3年4月	プール排水ポンプ修繕
6月	ろ過熱交換用三法弁修繕
令和6年3月	プールラインポンプ修繕（約2週間、プール営業休止）
令和7年1月	ボイラー修繕（約1か月、プール営業休止）
9月	プールろ過ポンプ等修繕（約1か月、プール営業休止）
12月～	ろ過機故障のため、ジャグジー使用の運休中

歩行用プールは、開設から20年が経過しています。設備の老朽化が進み、突然の故障による修繕や、それに伴う利用休止も多くなっています。利用状況も参考に、利用者の健康づくりや介護予防の機能の維持と当該施設の今後の在り方について検討を進めていきます。

島根かみあり国スポ・全スポ2030

2030年に開催される第84回国スポ（軟式野球）に向けた、準備スケジュールと組織体制（案）

2026年（開催4年前）：
準備組織の本格始動



島根かみあり国スポ、全スポ
発起人会、準備委員会を開催
します。

県軟式野球連盟や
軟式野球会場となる浜田市、益
田市、川本町と開催に向けて連
携を密にし、準備を進めていき
ます。



邑南町実行委員会の組織体制（案）



2027年～2029年（開催3～1年前）：
施設整備とリハーサル



いわみスタジアム、瑞穂球場を整備し、
リハ大会を開催し、運営状況等を
確認します。

2030年（大会本番）：
第84回国スポ開催



これまでの準備を経て、邑南町で
国民スポーツ大会軟式野球を開
催します。

事務局（職員）体制（案）

令和9年（2027） （開催3年前）		令和10年 （2028） （開催2年前）		令和11年 （2029） （リハ大会） （開催1年前）		令和12年 （2030） （本大会） （開催年）	
専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任
2	4	4	8	4	8	5	8

※先催県視察先（佐賀県有田町、滋賀県日野町）の体制を
参考に邑南町の人員体制（案）を検討しています。

※本資料のイラスト、図解には、視覚的理解を深めるため生成AIを活用して作成したイメージが含まれています。

島根かみあり国スポ・全スポ2030
自分を超えろ、神話をつくれ



島根かみあり国スポ・全スポ2030

島根かみあり国スポ・全スポ2030の軟式野球開催に向け、「先行、後行方式」を採用して2つの球場を時期をずらして改修します。利用者の利便性を最大限に確保しつつ、大会準備を進めるための5年間の計画です。

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
 先行改修球場	 利用可能 一般利用、大会利用	 工事 (6月～) 改修工事開始	 2月～ 養生期間 (使用不可) 施設養生のため	 利用可能 一般利用、大会利用	 利用可能 プレ大会開催 (リハーサル大会) 国スポ本番開催
 後行改修球場	 利用可能 一般利用、大会利用	 利用可能 一般利用、大会利用	 工事 (6月～) 改修工事開始	 2月～ 養生期間 (使用不可) 施設養生のため	 利用可能 プレ大会開催 (リハーサル大会) 国スポ本番開催

球場の改修する順番は現在検討中です。

邑南町の現状 データシート 令和8年度 町政運営説明会

※ 基準日・出典は各項目の備考欄を参照。一部数値は調査時点が異なります。

① 人口・世帯

総人口	9,467 人	(R7.1.1)	住民基本台帳
うち 65歳以上(高齢化率)	45.8%	(R7.1.1)	全国平均 29.3%(R6推計)
世帯数	4,605 世帯	(R7.1.1)	住民基本台帳
出生数 / 死亡数(R6)	34 人 / 217 人		自然増減:△183人
転入数 / 転出数(R6)	221 人 / 287 人		社会増減:△66人
合計特殊出生率	1.56	(R6年度)	島根県値 全国 1.20(R5)
人口推移(国勢調査・推計)			
H27国勢調査	11,101 人		
R2国勢調査	10,163 人		△938人(H27比)
R6直近	9,135 人	(R7国勢調査速報)	△1,028人(R2比)
R12推計	8,479 人	【推計】	国立社会保障・人口問題研究所

② 財政規模(令和6年度決算)

歳入総額	172.1 億円	(17,208,885千円)	R6決算(普通会計)
歳出総額	167.2 億円	(16,720,629千円)	R6決算(普通会計)
地方税収入	11.7 億円	(歳入構成比 6.8%)	R6決算(普通会計)
地方交付税	62.7 億円	(歳入構成比 36.4%)	R6決算(普通会計)
国庫支出金	21.2 億円	(歳入構成比 12.3%)	R6決算(普通会計)
町債(借入額)	36.4 億円	(歳入構成比 21.2%)	R6決算(普通会計)
町債残高	179.5 億円	(17,947,430千円)	R6決算(普通会計)
財政調整基金残高	11.8 億円	(1,179,229千円)	R6決算(普通会計)

③ 財政指標(令和6年度)

財政力指数	0.19		【参考】類似団体平均:0.30
経常収支比率	93.5%		【参考】類似団体平均:89.4%
(参考)全国町村平均	93.8%		財政運営の目安:概ね75～85%
実質公債費比率(3ヶ年平均)	12.4%		早期健全化基準:25%以上で該当
将来負担比率	95.0%		早期健全化基準:350%以上で該当

④ 教育・子育て			
保育所・認定こども園 在籍児童数	263 人	(R6年度)	R8.4.1時点は239人に減少
小学校 児童数(8校計)	428 人	(R6学校基本調査)	
中学校 生徒数(3校計)	224 人	(R6学校基本調査)	
合計特殊出生率	1.56	(R6.10.1基準)	島根県 1.43／全国 1.15

⑤ インフラ			
町道延長(実延長)	611.7 km	(R6道路台帳)	
水道普及率	89.3%	(R6下半期 水道事業業務状況説明書)	
下水道等普及率(農集・合併含む)	93.7%	(R6下水道事業会計決算)	

⑥ 福祉			
介護認定者数・認定率	973人 22.5%		【参考】全国平均認定率:20.1%
国民健康保険 加入者数	1,950 人	(R6年度平均)	
生活保護受給者数	24 人	(R6)	

⑦ 防災(消防団)			
消防団員 定員 / 現員	580人 / 456人	(R6.4.1)	充足率 78.6%
団員数の推移	515人(R3)→ 436人(R8)		5年間で △79人

⑧現在の主な課題

・人口減少・少子化の加速(出生34人/年)

・財政の硬直化(経常収支比率93.5%・町債残高179億円)

・公共施設の老朽化と更新費用の増大

・担い手不足(特に、農林業・福祉・消防団)

・移住定住の促進と関係人口の拡大

・地域医療・介護体制の持続的確保

人口推移

人口推移

12,000

11,000

10,000

9,000

8,000

7,000

6,000

人口推移

H27(2015)

R2(2020)

R6(2024)

R12推計

11,000

10,000

9,000

8,500

消防団員数の推移

消防団員数の推移

650

600

550

500

450

400

350

消防団員数の推移

R3(2021)

R6(2024)

R8(2026)

515

456

436

消防団員数の推移

580

580

580

消防団員数の推移

団員数 (人)

定員